

暮らしに安心をお届けする...

～ビッグ・ワン ニュース～



2025 年 冬の部 第 65 号

新年あけましておめでとうございます！

拝啓 初春の候、皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
弊社業務につきましては、平素より格別のお引き立てを賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

弊社では4年程前から、希望者を募り「読書研鑽会」を行っています。毎日を忙しく過ごしていると、なかなかゆっくりと読書の時間が取れません。読書研鑽会メンバーは毎週火曜日に30分早く出社し、皆で同じ本を読み、その内容についてディスカッションを行っています。1週間で30分だけですが、それでも年間を通して5～6冊になります。何の本を読むかは基本私が決めさせていただいておりますが、ビジネス書や自己研鑽系の本がほとんどです。本によっては結構難しい内容のものもあるのですが、各自の感想を共有する事で新たな発見があったり理解が深まる事があるので、非常に貴重な時間となっています。

読書をしていると、「もっとこうしたい!」「こうすればもっと良くなるかもしれない!」というアイデアが浮かんできます。そのアイデアを即実践するのは、なかなか難しかったりもするのですが、それでも日々の考えや行動に少なからず影響を与えてくれています。読書研鑽会のメンバーは現在4名ですが、今後はこの「学び」と「発見」の好習慣の場をもっと広げていく事ができればいいと思っています。

読書研鑽会を始めた頃からビッグ・ワンでは、「関わった人全てが幸せになれるような会社」を本気で創る為の「改革」を行っています。お客様に最高のサービスを提供できるようになるには、社内が明るく元気で、皆が助け合う環境が必要不可欠です。その為には社員一人ひとりが、自ら成長し、自ら仲間に手を差し伸べる事ができるようになってほしいと思っています。「自分の事は棚に上げて…」といった言葉がありますが正にその通りで、人はついつい自分の行動ではなく他人の習慣や行動に目が行きがちになり、自己成長ではなく他人成長を望んでしまいます。社内の全員がそうやって他人の成長ばかりに目を向けていたらどうなるでしょうか?おそらく成長どころか組織自体が衰退していくでしょう。逆に社員全員が人の指摘はせず、自己成長に注力し、仲間を進んで助け、どんな仕事でも率先してやるようになったらどうなるでしょう?幸せの好循環が発生し、お客様に対しても最高のサービスが提供できる「最幸」な会社になっていくでしょう。正直なかなか厳しい事を社員に求めているなと思ってはいるのですが、ビッグ・ワンが本物の「最幸」の会社になる為に、「人に指を指す社員」のいない、「自己成長と助け合いを重んじる社員」ばかりがいる環境に近づけていきたいと思っています。

「改革宣言」から数年経ち、人の入れ代わり等も手伝って、徐々にではありますが社員の思いや姿勢が変わってきているのを肌で感じています。ビッグ・ワンは着実に理想に近づいています。険しい道のりではありますが、2025年も読書研鑽会等の自己研鑽や共助の場を多く作り、「最幸の組織創り」に全力で突っ走っていきたいと思っています。どうぞ皆様からも気になった事やご要望等がございましたら遠慮なく言っていただき、ご指導ご鞭撻いただければと存じます。

どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。

敬具

2025 年 元旦

有限会社 ビッグ・ワン

代表取締役 大木 敬介

経営理念

- 一. お客様や仲間の喜びを、自分自身のやりがいに変え、全ての事に全力で取り組みます
- 一. オンリーワンのサービスを追求し、地域から求められる企業、必要とされる企業になります。
- 一. 関わった人全てが幸せになれるように、感謝の言葉で溢れる職場を創ります。
- 一. 社員全員が自主性を持ち、日々の成長を実感する為に、チーム一丸となって常に挑戦し続けます。